

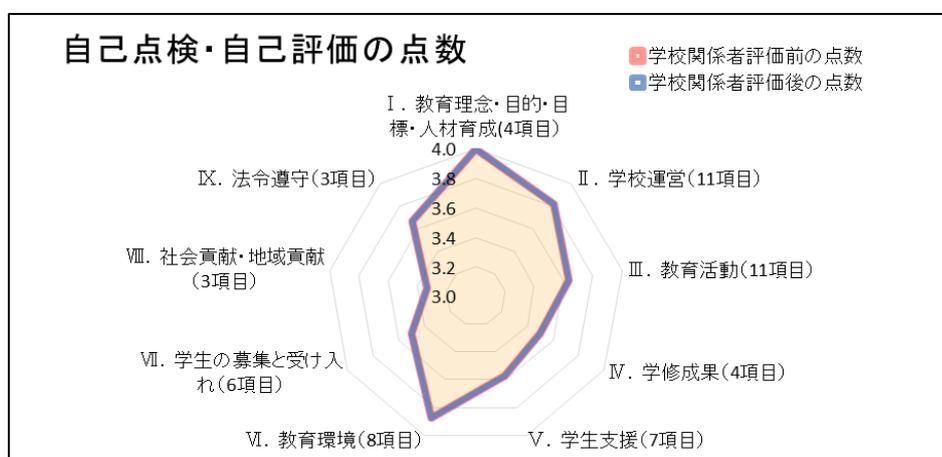


# 2021（令和3）年度 学校評価

富士吉田市立看護専門学校

本校は、看護に必要な基礎的能力及び態度を修得し、心豊かな人間性で見識を養い、地域や社会に貢献できる人材を育成しています。また、学則第 32 条に基づき教育の充実を図り学校の目的及び社会的使命を達成するため学校における教育活動の状況について自ら点検及び評価しています。なお、本校における学校評価は、自己点検・自己評価及び、評価委員による学校関係者評価を含めたものです。

## 【2021 年度 自己点検・自己評価（9 領域・58 項目）】



<評価項目>

- 4：適切
- 3：ほぼ適切
- 2：やや不適切
- 1：不適切

次は、2021（令和3）年度の重点目標に沿った評価である

## 【重点目標 1】 2022 年度の入学定員を 90%以上確保する

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防策（時間短縮・人数制限など）を講じながら、本校の概要や教育活動など PR 活動を行った。その内容と結果は以下である。

- オープンキャンパスを開催した(78 名参加)
- ミニオープンキャンパスは中止した
- トワイライトオープンキャンパスを開催した(2 名参加)
- 保護者を対象に進路相談会を開催した
- 山梨県内 27 校を対象に高校訪問を行った
- 高校から学内見学の受け入れ(1 校)
- 業者の進路相談会に参加した(9 件)
- ホームページを更新した(102 回)
- 公式 SNS にて情報を発信した(59 回)
- 地元テレビ局と番組を制作した(12 回)
- 在校生による「母校へいこうキャンペーン」(3 件)

これらの PR 活動を行ったが、2022 年度入学試験の受験者は 46 名で 42 名が合格し 33 名が入学した。（前年度：

受験者 72 名・合格者 52 名・入学者 48 名） 受験者及び入学者減少の要因のひとつは、令和 3 年 9 月 15 日付

山梨日日新聞等の「閉校に関する新聞報道」である。この報道を受け、高校に誤解のないように電話連絡を行ったが目標である入学定員 90%にはとどかなかった。

## 【重点目標 2】 学業支援の充実を図り、入学生の 80%以上の卒業率を確保する

### 学業支援の充実

今年度も感染予防策を講じながら、学生同士の「学び合い」と「学年間の交流」を目的に、異学年の交流学習を 4 回実施した。その結果、学生の満足度は「大変満足 28.9%」「満足 61.2%」と 90.1%の回答であった。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のために登校制限の期間もあったが、オンラインやオンデマンド配信による授業（全学年）の実施率 7%で学習の遅れはなかった。また、Google work space for Education を導入し Web アプリケーションの classroom、Form 等を活用し小テストや講義評価を実施した結果、教職員の業務効率性も高まり学生の学習にも良い影響を及ぼした。

臨地実習では実習施設と綿密な調整を行い、時間短縮や人数制限、及び感染予防策の徹底などにより、臨地での実施率は約 70.3%であった。しかし、実習方法の変更により看護技術総験は 66%で、本校の示す水準 3（侵襲性の高い処置・検査・治療）の経験はほとんどできていない。今年度も国や山梨県、看護協会による学習の確保対策補完事業等によるタブレットやパソコン、血圧測定シミュレーター（レンタル）などにより、学生の学習に役立てることができた。

### 学業支援の充実を図った結果

- 2019 年度入学 35 名のうち 3 年で卒業した学生 26 名・卒業率 74.3%、2018 年度入学者の卒業率 78.3%
- 第 111 回看護師国家試験の合格率は、100%（全国 91.3%・新卒者 96.5%）であった
- 第 111 回看護師国家試験の自己採点（業者の集計）では、必須 46.1 点、一般・状況設定 197.2 点であった
- 卒業者 30 名は、山梨県内に 24 名（80%）就職し、そのうち市立病院へ就職 9 名（36%）、富士北麓東部地域への就職率は 60%である。また、5 名（14.3%）の学生が進学（助産学専攻 3 名、地域専攻 2 名）した。（前年度：卒業者 36 名・山梨県内就職 35 名（市立病院 16 名 44.4%、富士北麓東部地区 72.2%）、1 名助産専攻に進学）
- 在籍者 123 名（4 月）のうち退学者 5 名・4.1%（3 月）であり昨年度 9.1%よりも減少している。退学の理由は、例年と同様で「進路変更」「学業不振」「学習意欲の低下」などであった
- 学生満足度調査（12 月）の結果、学校生活全体の満足度は、「大変満足している 26.4%」「満足している 68.6%」（合計 95%）であった。（昨年度：「大変満足している 11%」「満足している 85%」）

### 【重点目標 3】カリキュラムの質の向上を図る

第5次カリキュラム改正に伴い、新カリキュラムにおける教員会議を定期的で開催し、前年度検討した教育理念・教育目標をふまえて、科目設定や単位数などを検討した。申請したカリキュラム等が山梨県医務課より2月に受理され、令和4年4月より新カリキュラムの適用となる。

### 【重点目標 4】新型コロナウイルス感染予防策を徹底し蔓延を防ぐ

昨年度同様に新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、本校の感染予防策における方針や授業方法の変更、時間割の変更などを適宜、審議しながら行った。特に、WebアプリケーションのFormを活用した健康チェック方法は有効的であった。また、学年による食事時間と場所の調整、黙食を継続し、グループワーク含む演習は人数を分散させフェイスシールド（ゴーグル）やマスクの着用も徹底した。山梨県看護教育研究協議会より、手指消毒剤やハンドソープなどの消耗品の助成があった。また、関係施設等の協力により、希望する教職員及び学生は3回のワクチン接種を早期に受けることができた。その結果、学内でのクラスターは発生しなかった。

#### 24期生 卒業式



### 【その他】円滑な学校運営を実施する

今年度は、総事業費 約 1 億 7507 万円で学校を運営した。開校から 26 年が経ち建物や各種機器等の経年劣化が進んでいるため、計画的に施設の修繕や設備の保守に努めている。また、安全で快適な学習環境を目指すため、Wi-Fi 環境の充実、売店運営（委託業者との契約）の継続、教育に必要な備品の修繕に努めた。

※ 学校関係者評価、教育活動など、詳細につきましては、ホームページをご覧ください。